

囲碁で遊ぶ国際交流 教材 (Ver1.2)

町田国際交流センター
国際交流部会
ウエルカム倶楽部

最終更新日 2024年7月21日
囲碁担当 石垣純

目次(もくじ)

I. 囲碁(いご)の用具(ようぐ)

II. 囲碁(いご)の基本(きほん)ルール(るーる) 7つ

1. 碁盤(ごばん)の線(せん)の交差部分(こうさぶぶん)に黒(くろ)と白(しろ)が交互(こうご)に打(う)つ
2. 地(じ)の多(おおい)ほうが勝利(しょうり)
3. 相手(あいて)の石(いし)は上下左右(じょうげさゆう)を囲(かこ)うと取(と)れる
4. 石(いし)を置(お)けない場所(ばしょ)がある(着手禁止点(ちゃくしゅきんしてん))
5. コウ(こう)
6. セキ(せき)
7. 互(たが)いに連続(れんぞく)でパス(ぱす)したら終局(しゅうきょく)

III. 囲碁(いご)のマナー(まなー)

1. 囲碁(いご)の用具(ようぐ)

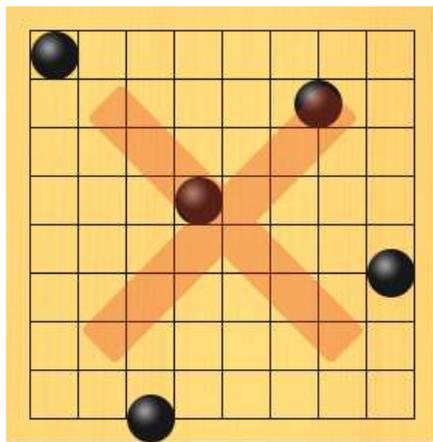
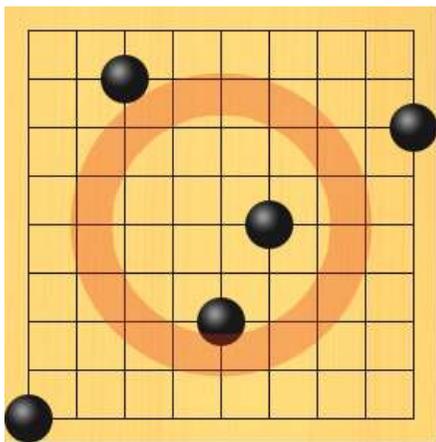
1. 囲碁(いご) : 中国語で”囲棋wéiqí”、英語では”Go”と呼ばれています。
2. 碁盤(ごばん): Go board = 碁石(ごいし)を打(う)つ板(いた)のこと
 1. 路(ろ): 縦横(たてよこ)の線(せん)のこと
 2. 19路盤(ろばん): 縦横(たてよこ)19本(ほん)の線(せん)を持つ盤(ばん)
 3. 13路盤(ろばん): 縦横13本の線を持つ盤
 4. 9路盤(ろばん): 縦横9本の線を持つ盤
3. 碁石(ごいし): Go stones
4. 碁笥(ごけ): Go bowl
(碁石(ごいし)を入(い)れる丸(まる)い容器(ようき))



II. 囲碁(いご)の基本(きほん)ルール(るーる) 7つ

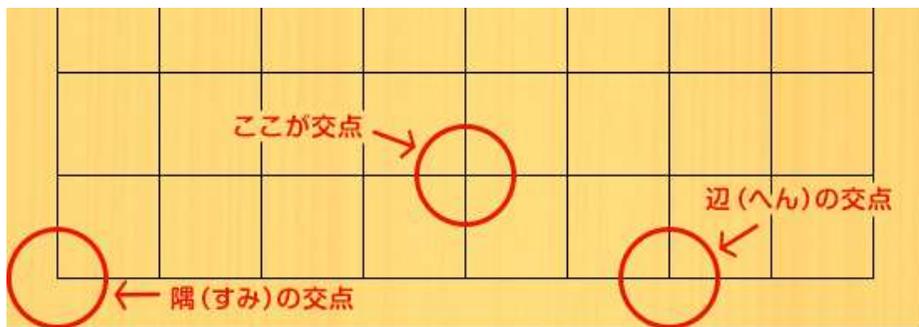
1. 碁盤(ごばん)の線(せん)の交差部分(こうさぶぶん)に黒(くろ)と白(しろ)が交互(こうご)に打(う)つ
2. 地(じ)の多(おお)いほうが勝利(しょうり)
3. 相手(あいて)の石(いし)は上下左右(じょうげさゆう)を囲(かこ)うと取(と)れる
4. 石(いし)を置(お)けない場所(ばしょ)がある(着手禁止点(ちやくしゅきんしてん))
5. コウ(こう)
6. セキ(せき)
7. 互(たが)いに連続(れんぞく)でパス(ぱす)したら終局(しゅうきょく)

1 碁盤(ごばん)の線(せん)の交差部分(こうさぶぶん)に黒(くろ)と白(しろ)が交互(こうご)に打(う)つ



※囲碁用語

打(う)つ: 碁盤(ごばん)に碁石(ごいし)を置(お)くことを「打(う)つ」と言います。

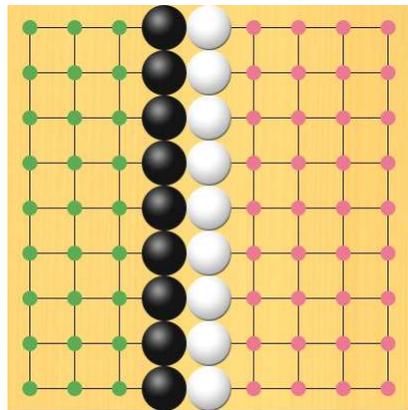


2 地(じ)の多(おお)いほう(ほう)が勝利(しょうり)

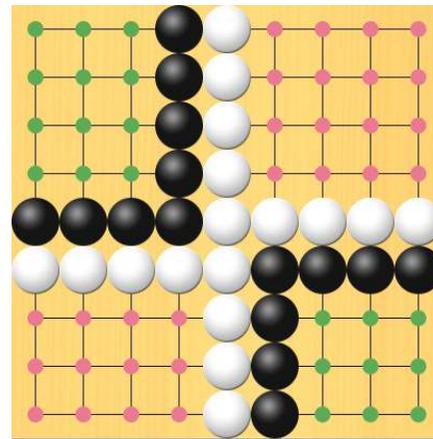
地(じ)の大(おお)きさ(さ)で勝敗(しょうはい)が決(き)まります。

※囲碁用語(いごようご)

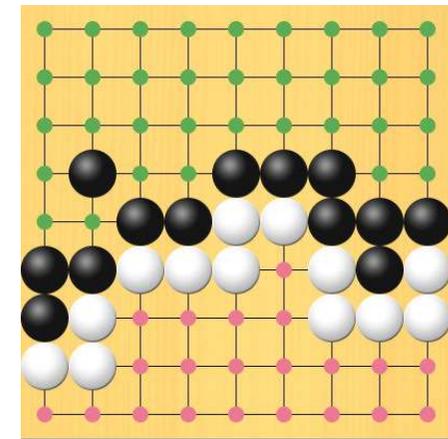
地(じ): 領土(りょうど)の中(なか)にあるタテ線(たてせん)とヨコ線(よこせん)の交点(こうてん)の数のことです。



● 黒の地 = 27目 ● 白の地 = 36目



● 黒の地 = 21目 ● 白の地 = 28目



● 黒の地 = 34目 ● 白の地 = 21目

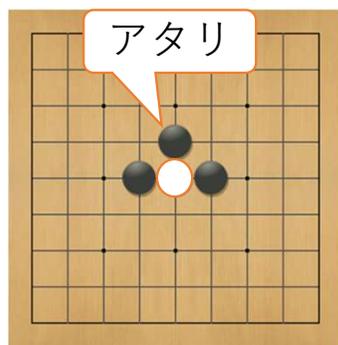
地(じ)を数(かぞ)える時(とき)は「目(もく)」
という単位(たんい)を使(つか)います。

白(しろ)の
7目(もく)
勝(か)ち

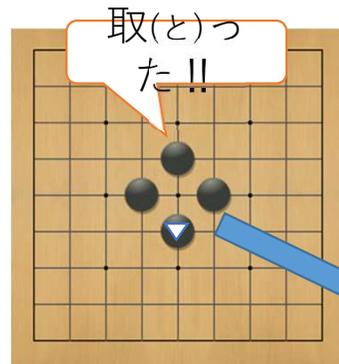
黒(くろ)の13
目(もく)勝
(か)ち

3 相手(あいて)の石(いし)は上下左右(じょうげさゆう)を囲(かこ)うと取(と)れる

あと1手(て)で相手(あいて)の石(いし)が取(と)れるという状態(じょうたい)を「アタリ(あたり)」といいます。

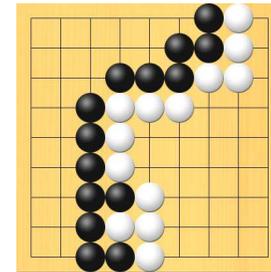


白石(しろいし)が取(と)れる前(まえ)
(アタリ(あたり))

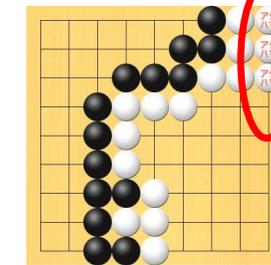


白石(しろいし)を取(と)った後(あと)

終局後(しゅうきょくご)のアゲハマ(あげはま)の取(と)り扱(あつか)い



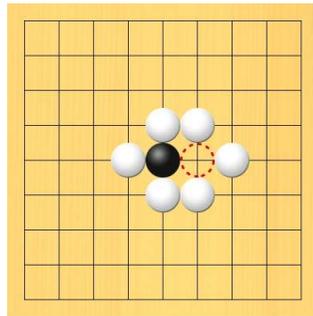
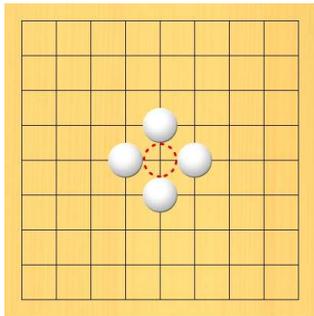
黒(くろ)が取(と)った白(しろ)石(いし)が3子(し)



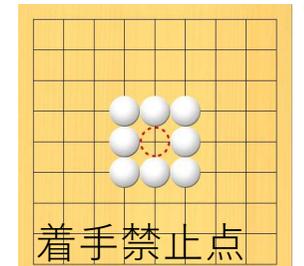
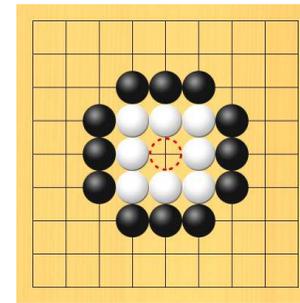
アゲハマ(あげはま)3子(し)を相手(あいて)の地(じ)に移動(いどう)する

4 石(いし)を置(お)けない場所(ばしょ)がある (着手禁止点(ちやくしゅきんしてん))

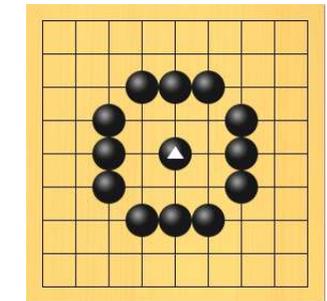
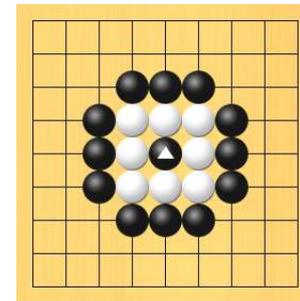
「石(いし)を置(お)くと、周(まわり)を相手(あいて)に囲(かこ)まれてしまう場所(ばしょ)」
に石(いし)を置(お)けません



取(と)れる時(とき)は打(う)てる



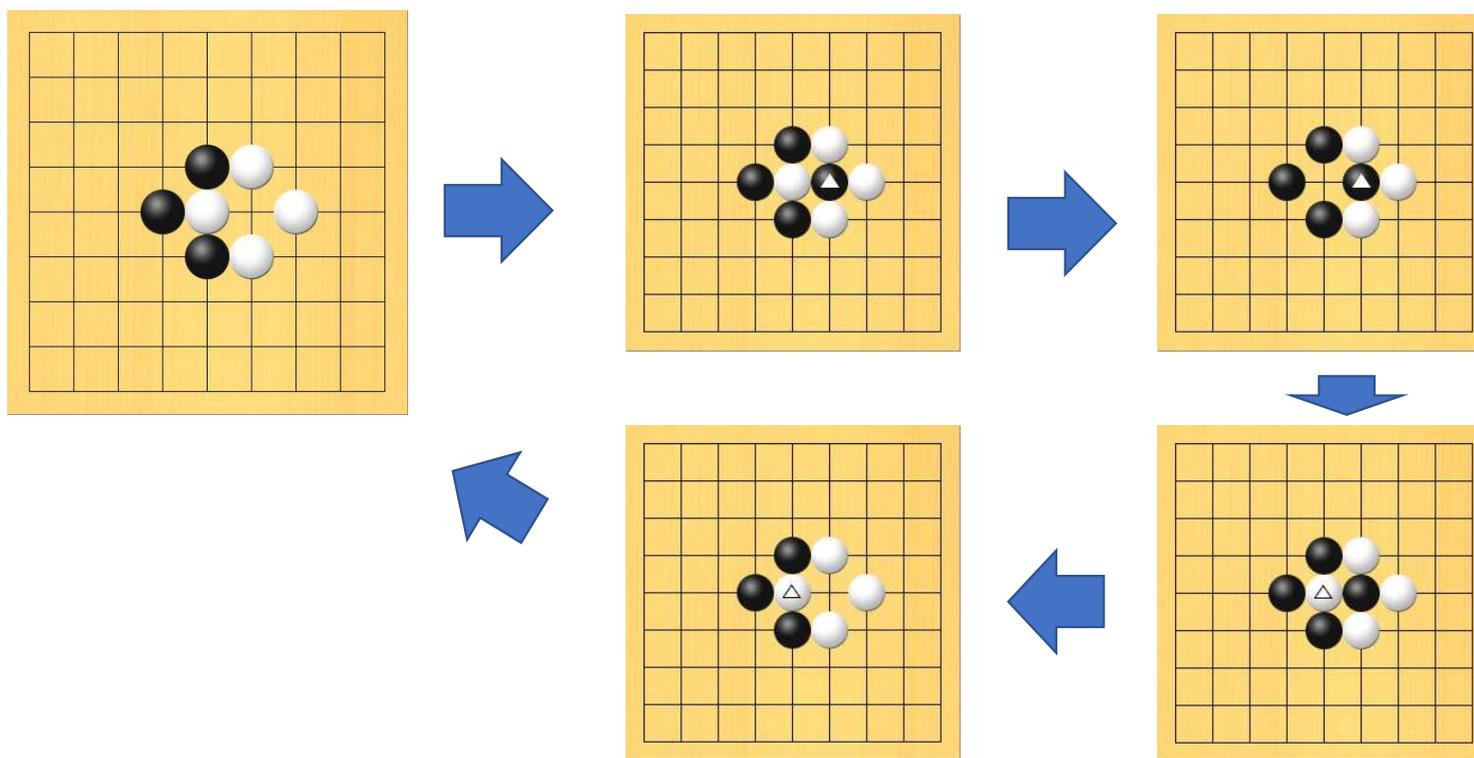
着手禁止点
(ちやくしゅきんしてん)



5 コウ(こう)

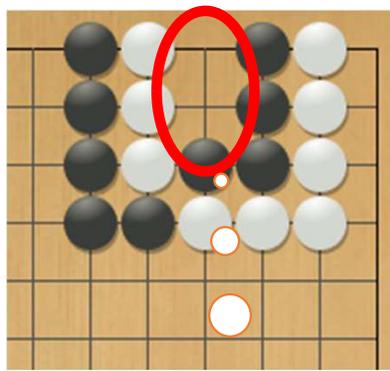
交互(こうご)に相手方(あいてがた)の石(いし)一個(いっこ)を取(と)り返(かえ)せる形(かたち)を「劫(こう)」という。

劫(こう)を取(と)られた方(ほう)は、次(つぎ)の着手(ちゃくしゅ)でその劫(こう)を取(と)り返(かえ)せない。

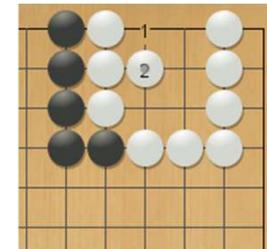
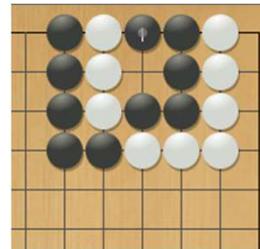


6 セキ (せき)

セキとは、相手(あいて)の石(いし)を取(と)ろうとすると自分(じぶん)の石(いし)が取(と)られてしまうような、お互(たが)いに手(て)を出(だ)せない状態(じょうたい)をいう。



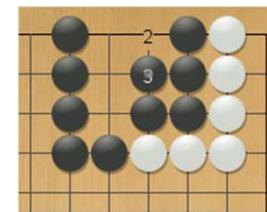
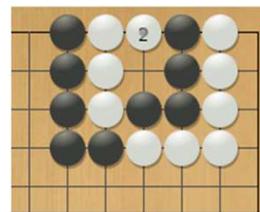
黒(くろ)から
先(さき)に打(う)つと。。



**白(しろ)の地(じ)に
なる!!**



白(しろ)から
先(さき)に打(う)つと。。



**黒(くろ)の地(じ)に
なる!!**

黒(くろ)と白(しろ)
どちらの地(じ)?

7 互(たが)いに連続(れんぞく)でパス(ぱす)したら 終局(しゅうきょく)

パス(ぱす)!!



パス(ぱす)!!

終局(しゅうきょく)!!

III. 囲碁(いご)のマナー(まなー)

1. 挨拶(あいさつ)

- (1) 打(う)ち始(はじめ)るときお互(たが)いに「おねがいします」と挨拶(あいさつ)をします。
- (2) 対局(たいきょく)が終(お)わったときは「ありがとうございました」と挨拶(あいさつ)をします。
- (3) 使(つか)った碁石(ごいし)をきちんと片付(かたづ)ける。

2. 「待(ま)った」はしない

- (1) 「待(ま)った」とは一度(いちど)盤上(ばんじょう)に置(お)いた石(いし)を、別(べつ)の所(ところ)に打(う)ち直(なお)すこと。(反則(はんそく))
- (2) 打(う)つところが決(き)まるまでは石(いし)に触(ふ)れない

3. 対局中(たいきょくちゅう)のおしゃべり

原則(げんそく)として、対局中(たいきょくちゅう)のおしゃべりは禁止(きんし)です。

しかし、このイベントではおしゃべりOKです。

判(わ)かからないことは先生(せんせい)や周囲(しゅうい)の人(ひと)にどんどん聞(き)いてください。

冗談(じょうだん)もOKです(笑(わらい))